

日新、横浜・本牧心頭で梱包・荷捌き機能強化

Edited By LogisticsToday On 2020/04/07



日新は7日、横浜市中区の本牧心頭で「本牧Aロジスティクスセンター」（仮称）を着工した、と発表した。

この施設は、同社の「神奈川埠頭営業所」から梱包工場と保管・荷捌上屋を移転するもので、延床面積1万平方メートルの倉庫内に天井クレーン4基を配備してこれに対応する。

2021年7月の竣工後は「京浜地区における輸出事業の中核拠点」として稼働する。

施設の概要

名称：本牧Aロジスティクスセンター（仮称）

所在地：神奈川県横浜市中区本牧埠頭8-1、9-1の一部

構造：平屋建・鉄骨造

敷地面積：1万4974平方メートル

延床面積：1万85平方メートル

主な設備：天井クレーン「20トン+20トン」2基、「20トン」1基、「10トン」1基

開業予定：2021年7月